



令和2年12月28日
北陸地方整備局河川部

とうみしもとうんの
**長野県権限代行区間（長野県東御市本海野地先）の
災害復旧工事における護岸工の不具合事象の発生について**

<概要>

令和元年台風19号で被災した長野県東御市本海野地先については、権限代行として災害復旧工事を行っておりますが、護岸工に不具合が生じていることが確認されました。

直ちに不具合箇所の調査を実施したところ、以下の箇所の不具合が判明しました。

- ① 胴込コンクリート充填不足（法覆大型ブロック背面空洞） → 4,348箇所
- ② 法覆大型ブロックの段差、ブロックの目開き、目地施工不良 → 9,123箇所
- ③ 法留基礎未施工 → 2箇所、112m
- ④ 護岸端部の処理不備

不具合が生じた原因の究明及び不具合箇所の改善措置方針について、令和3年1月8日までに提出するよう、本日、発注者監督員より受注者に指示しました。

<工事概要>

工事名 : 令和元年台風19号千曲川権限代行区間(東御市海野地先)緊急復旧工事(その1)
受注者 : 株式会社大林組 北陸支店
工事場所: 長野県東御市本海野地先

同時資料配布記者クラブ

長野市政クラブ
長野県庁会見場
その他専門紙

問い合わせ先 :

国土交通省北陸地方整備局 河川部
河川工事課長 田邊 雄司
河川工事課長補佐 南 健二

(代表 : 025-280-8880 直通 : 025-280-8965)

長野県権限代行区間 位置図



不具合事象が発生した長野県東御市本海野地先

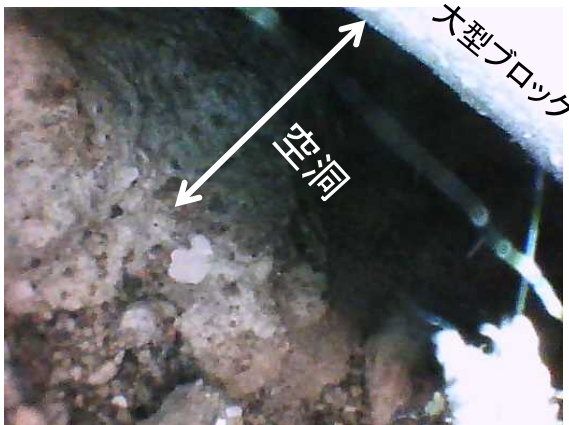
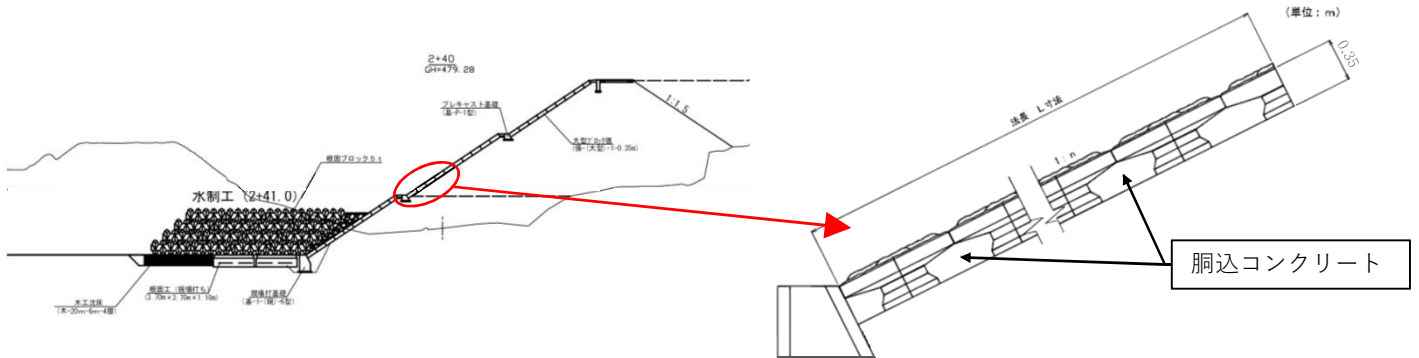


不具合の発生概要及び今後の方針

【不具合の発生概要】

- ① 胴込コンクリート充填不足(法覆大型ブロック背面空洞) : 4,348箇所(写真①)
- ② 法覆大型ブロックの段差、ブロックの目開き、目地施工不良 : 9,123箇所(写真②)
- ③ 法留基礎未施工 : 2箇所、112m
- ④ 護岸端部の処理不備

標準断面図



写真①: 法覆大型ブロック背面空洞



写真②: ブロックの目開き

【今後の方針】

不具合の事象が発生している箇所について、受注者から提出される原因及び改善方針を踏まえ、速やかに改善措置を図ってまいります。

※胴込コンクリートとは

護岸や擁壁において、コンクリートブロックを固定し、荷重を伝えるため、コンクリートブロックの背後に投入するコンクリートのことです。